

新年のご挨拶



廿日市市立廿日市中学校
校長 枝 廣 泰 知

令和2年となり、穏やかで暖かい新春を迎えました。

今の季節、朝の校長室には、広島はつかいち大橋のすぐそばにある太陽からまばゆいばかりの光が届きます。もちろん校長室だけでなく、学校全体にエネルギーを与えてくれていると実感できる朝日です。

私たち教職員は、今年の流行語大賞にもなったラグビー日本代表チームに象徴される「ONE TEAM(ワンチーム)」となって、生徒の成長を支えていきたいと思っています。

廿日市中学校のよいところを本校教職員にアンケートしたところ、「生徒は素直である」、「友達を応援できる」、「前向きで頑張る生徒が多い」、「職員室が明るく話しやすい雰囲気だと思ふ」、「教職員は迅速に課題に対応しよう意識している」、「めあてや振り返りをどの職員もしっかり意識している」、「保護者が協力的で、PTA役員の皆様をはじめ本当に助けてもらってありがたい」、「誰も(生徒・職員・保護者)が前向きに物事にあたることができていると思ふ」、「地域連携がうまくいっている」などの意見がありました。



北校舎2階から広島はつかいち大橋を臨む

保護者、地域の皆様方のご理解、ご協力により、本校生徒の活躍の姿も一段とたくましさが増し、いろいろな場面で自分の行動に責任をもち、自分を律しようという姿が見られるようになってきたと思います。

本校の校訓、『正直に生活し 進んで学び 人に害せず自己を守り 人と社会のために奉仕する』とあるように、生徒たちには、向上心や思いやりの気持ち大切にして、しっかり「自律」し、将来社会の中で志高く「自立」してくれることを期待しております。

皆様方のご支援を心から感謝し、新年のご挨拶とさせていただきます。

(令和2年1月)